

睡眠時無呼吸症候群の合併症③

文 井上玲奈

text by Rena Inoue

睡眠時無呼吸症候群（SAS）の合併症でまず挙げられるのが循環器疾患です。今回は高血圧症について述べましたので、今回はその他の疾患について説明いたします。

高血圧の状態が長く続くと動脈の弾力がなくなり動脈硬化が起こり、これが循環器疾患の原因となります。また、SASでは夜間睡眠時に低酸素状態になることもあり、高血圧と合併すると循環器疾患の発症リスクが高まります。

・虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）

冠動脈に疾患のある患者でSASの合併率は疾患のない場合の約2倍です。また、SAS患者の虚血性心疾患の発症リスクはそうでない人と比較した場合、1・2～6・9倍と報告されています。無治療の重症SAS患者の心筋梗塞もしくは脳卒中による死亡率はSASがない人と比べ約3倍になるという研究結果もあります。

虚血性心疾患を生じた後、5年以内

の再発率は通常9%ですが、SAS患者では38%にもなります。

・不整脈

脈拍のリズムが乱れるものを不整脈といい、不規則となるもの、ペースが変わる頻脈や除脈等があります。SAS患者は不整脈を合併する率が高く、無呼吸・低呼吸指数の増加や低酸素血症の悪化に伴い、合併率が高まります。夜間の不整脈はSAS患者の50%近くに認められます。

心房細動という不整脈はSASとの関連が明らかになっており、SAS患者の発症リスクは2倍以上高まり、また重症の患者では心房細動の夜間発生頻度が4倍以上も認められたという報告もあります。

・心不全

SASは心臓に負担をかけて心機能を低下させていきます。慢性心不全の患者の30～50%にSASが合併しているとの報告があります。SASを合併

している患者はその治療をしないと死亡率が2～3倍高くなることも分かっています。

閉塞性SASは心不全の発症に強く関与しています。中枢性SASは慢性心不全の結果として起こり、さらに心不全を悪化させ生命予後が悪くなると考えられています。ですので、心不全の場合はSASの有無を確認する必要があります。

次回も合併症について。まだまだ続きます。

Profile

日本大学歯学部卒業
2004年 レナデンタルクリニック開設
2008年 癒しと希望のデンタルサロン、レナ・レスポールを併設
「お一人お一人の美と健康を生涯にわたってサポートする」ために日々診療に当たっています
「日本睡眠学会会員」「日本睡眠歯科学会会員」

レナデンタルクリニック
〒104-0061 東京都中央区銀座7-11-11 長谷川ビル2F
TEL:03-3573-8148

